

当社の取り組み概要について

①「原子力リスク検討委員会」の設置について（平成26年7月設置予定）

原子力リスクマネジメントの重要性を踏まえ、経営トップのコミットメントを強化するため、社長を委員長とする「原子力リスク検討委員会」を設置する。

本委員会では、原子力リスクの分析・評価やリスク低減に向けた必要な対応策および地域の方々とのコミュニケーションのあり方を審議するなど、当社における原子力リスクマネジメント全般について指揮・管理していく。

②「特定課題検討チーム」の発足について（平成26年7月発足予定）

原子力リスクマネジメントの実践にあたり、プラント監視能力の向上や、効果的な活動の推進機能を強化するため、社内横断的な部門の人員で構成する「特定課題検討チーム」を発足する。

本チームでは、原子力リスク検討委員会の方針を踏まえ、社内関係箇所および外部関係機関と連携しながら、原子力リスクの分析・評価やリスク低減に向けた必要な対応策に関する具体的な検討などといった、原子力リスクマネジメントを実践・牽引していく。

③リスクコミュニケーションの強化について

当社がこれまで継続的に展開してきた訪問対話活動や広報誌発行などによる地域の方々とのコミュニケーション活動について、原子力のリスク情報やその低減に向けた取り組みなども盛り込みながら、双方向のコミュニケーションに努めていく。また、外部の有識者などの声を当社原子力リスクマネジメントに取り込んでいくための仕組みづくりの検討を加速させ、さらにリスクコミュニケーションの強化を図っていく。

